

# STEP BY STEP

兵庫県立大学附属高等学校

【30回生】学年通信：第2号

2023年 5月2日発行

蒜山自然教室、お疲れ様でした。天候にも恵まれ、「最高の自然教室」になりましたね！  
25 km高原ウォーク、校歌コンテスト、飯盒炊さん、そして、仲間たちとの交流……充実した2日間でした。各クラスの連携も高まり、30回生全体の一体感も十分に感じることができて、大変うれしく思います。

さて、5月はG・Wが終わるとすぐに文化祭、そして、高校初の「定期考査」と行事が続きます。部活動では先輩たちが目標に向かって頑張っていますね。そこで、君たちにはここで今一度、基本的な生活習慣や、学習への取り組み方を振り返ってほしいと思います。学校生活にも慣れ始めたこの時期に、何でも良いので自分自身に具体的な目標を設定して、それに向かって努力していきましょう。

「あらゆる環境に適応できることが、われら人類の強みである」「努力は決して裏切らない」

## ・4/10(月):入学式



## ・4/11(火):対面式



## ・4/18(火):高大連携授業



〔ラポノート：感想より〕人間のDNAがすばやく変化することに驚くとともに、今後人間が火星などの星で暮らすことになる際には人類にどのような変化が起ころのかと考えたりしました。(5組・片山さん)

## ・4/27(木)~28(金):蒜山自然教室



### ☆5月の行事予定(1年生関連)

- 2日(火) 授業参観  
寮生父母の会・総会  
PTA総会、学年懇談会
- 11日(木) 文化祭(1日目)、インターピーぶる day
- 12日(金) 文化祭(2日目)

- 16日(火) 立会演説会
- 19日(金)~24(水) 第1回定期考査
- 24日(水) 寮大掃除、寮生集会
- 26日(金) ②歯科検診



- ・25キロウォークは思っていたよりすごく大変だったけど道中の景色や友達と喋りながら行くことができてとても楽しかったです。(福本)
- ・疲れがあるにもかかわらず、全員で積極的に校歌コンクールや飯盒炊爨にも取り組み、僕たちの班は先生に一番おいしかったと言っただけ、皆で協力して頑張った甲斐があったなと思いました。(宮脇)
- ・クラスメイトのいい所を探さきっかけになった。(川上)
- ・大変なことも多かったですが、その分、達成感を得られることが多かったし、みんなと協力して楽しく過ごすことができました。(関)

- ・なかなか話す機会がない子と意気投合し、話が盛り上がった時が物凄く楽しかった。最初はどうなることかと思っていた高原ウォークだったが、ゴールした時の達成感が半端なく、気持ちよかった。(岡野)
- ・いろいろなイベントを通してクラスのみならずとも協力して仲を深めることができたので良かった。自分自身にとって大変貴重な経験になった。(尾関)
- ・2日間共に過ごして、友達の新しい一面や知らなかった姿を知ることが出来たのでとても意味のある行事だったと思う。(河野)
- ・学年全員で団結できた。(藤本)
- ・校歌コンクールは練習中から笑顔が絶えず終始楽しんで練習できた。(三宅)



- ・とても楽しかったです。しんどい時も他クラスの子や初対面の子でもお互いががんばろ！と前向きな声かけができていてとても元気が出ました。改めて仲間の大切さに気づきました。(池田)
- ・かなり長い距離を歩き、1人では多分諦めてしまいそうなことをクラスメイトと励まし合って達成できて自分の限界を超えることができました。(境)
- ・普段教室で喋らない人ともたくさん話すことができて、新しく知ることが出来る場面もあったのでとても良かったです。(永岡)
- ・親睦を深めながら、たくさんのことを学ぶことができました。(廣居)

- ・この2日間はみんなの支え合いで成り立ったとおもいます。1人だったら25kmも歩ききれなかったと思うし、校歌コンクールもみんなでアイデアを出し合って作られました。だから仲間との関係はとても深まったと思います。でも5分前集合が、できていない時がいくつかあって、楽しむことは大切だけど、しないといけないことはしっかりしないといけないのでそういうところの切り替えを全員でできるようにこれからの学校生活を過ごしていきたいです。(長谷川)
- ・高原ウォークで、ゼフィルスが観察できて良かった。ヒトリガも元気そうだった。(菅藤)



- ・たくさんのことを班やクラスでやるのが面白くて楽しかった。クラスで楽しむと言う面では、修学旅行よりも上だった。(森崎)
- ・疲れることが多かったけどすごく楽しかったです。まだ話したことのない人達と沢山話せてすごくいい機会になりました。(白元)
- ・クラスメイトのやさしさが感じられる二日間でした。(西村)
- ・25キロウォークでは、高原の大自然を肌で感じながら歩くことができた。早くにゴールしたため、余裕を持って風呂に入れた。(北本)
- ・飯盒炊飯や高原ウォークなどで、クラスメイト同士での絆を深められて良かったです。(原田)